

2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

評価期間: 2022年10月~2023年3月

回収数/配布数: 11/12

回収率: 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	73%	27%		食事以外は、テーブルを端に寄せることによりスペースを広く使うようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	55%	36%	9%	食事やトイレ介助が必要な場面が多いため、配置基準より多めに配置しています。休み希望が重なったり、コロナ関連での自宅待機等の理由で出勤者がいつもより少ないこともありましたが、そのような場合はより安全に留意しつつ、その中で利用者が楽しめる活動を模索しながら取り組みました。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	82%	9%	9%	館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	36%	55%	9%	本人や保護者のご希望に沿うことを基本としながら、支援における改善点等の意見を職場会議や夕礼にて挙げてもらい、それに対する具体的な対応を話し合い、実践後点検するという形を取っています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年に1回利用者アンケートを実施し、ご意見を参考に運営しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、年に1回更新しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内の同事業間で点検を実施し、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	73%	27%		月1回の職場会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、ハラスメントや権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			面談や送迎時の会話、1年に1回記載していただくアセスメントシートからニーズや課題を把握しています。家庭と同じ方向性でアプローチし成長につなげていけるようサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	64%	36%		アセスメントシートに日常生活動作の自立度等を確認する項目はありますが、適応行動の状況をはかる内容にはなっていないため、法人内の同事業所間で改善に努めます。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	45%	45%	10%	毎月の職場会議や土曜イベント会議において、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	55%	45%		活動がマンネリ化しないようイベントを企画したり、おもちゃの入れ替えを行う等しています。また活動の幅を広げていけるよう、職場会議や朝礼で意見を出し合っ、これまで行なっていなかった遊びを試してみる等しています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	36%	64%		朝礼にて利用者毎の支援上の留意点や課題を共有し支援を行なっていますが、平日・休日・長期休暇に応じて課題を設定しているとは言い切れない現状です。休日や長期休暇については活動時間が長いので、平日時間が短くあまり屋外での活動ができない分、積極的に屋外で活動することを心がけています。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	82%	18%		個々の利用者の状況や保護者の要望等から、利用者毎に計画を作成しています。結果として、集団活動に焦点を当てる方もいれば、個別活動に焦点を当てる方もいます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			朝礼を実施し、その日の活動内容、個々の利用者に対する支援上の留意点や安全上の留意点等を共有しています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%			夕礼を実施し、一人ひとりがその日の活動について感じたことや気づいた点を述べてもらう時間を設けています。それを受けて、翌日以降の支援において利用者に対し新しいアプローチをしたり、ひやりはっと等を共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			記録については、個人的な感想や見解を書かないことを徹底しています。必要に応じ、利用者の気になる行動がいつから見られるか等の振り返りに活用しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	73%	27%		原則6ヶ月に1回モニタリングを行ない、必要に応じ計画を見直しています。日々の朝礼・夕礼や月1回の職場会議等で、利用者の状態に変化があれば共有し、期中であっても見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	36%	64%		複数の基本活動を組み合わせていますが、職員間でガイドラインに対する理解に差が見受けられるため、意識に留めていくためにも研修にて定期的に取り扱っていきます。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加することとしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	91%	9%		主に送迎時に情報共有を行なっています。新型コロナウイルス感染症の発生や荒天による休校等についての情報は、学校配信の専用のメールにて得ています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	36%	64%		医療的ケアが必要な利用者の受入れは行なっていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			保護者からの情報のみではなく、必要に応じ児童発達支援事業所の支援計画等を支援の手掛かりとすることがあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問い合わせがあれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		児童発達支援センターとの連携はこれまで行っていません。発達障害者支援センターについて、今年度は主催の研修に参加しませんでした。これまで参加実績があり有意義なものであったので、今後機会があれば積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	18%	36%	46%	外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けた際の地域の人のふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			障害者基幹相談支援センター主催の地区内児童系事業所の意見交換会に参加しました。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	91%	9%		連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	18%	55%	27%	ペアレント・トレーニングの機会は持っていません。保護者からのご相談に可能な限り応えられるようスタッフの資質向上に努めています。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	64%	27%	9%	保護者からのご相談は、基本的には児童発達支援管理責任者が対応しています。必要に応じて学校や相談支援事業所とも連携して少しでも保護者の負担が軽減されるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	45%	45%	年に1回保護者会の実施を考えていますが、コロナ禍のため実施していません。コロナ終息後、企画していきます。

首 へ の 説 明 責 任 等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73%	27%		苦情受付に関し、契約時に事業所・法人・外部機関各窓口の案内を行っています。苦情を受け付けた際には、法人で定められた規程に則って対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			隔月で会報を発行し活動内容を紹介しています。イベントの予定や緊急時の連絡体制等の案内については、会報とは別に適宜書面にて行なっています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	91%	9%		個人情報が記載されているものについては、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91%	9%		文字盤やジェスチャー、メール等を用いてコミュニケーションを行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	18%	55%	27%	事業所としては行なっていませんが、複合施設としては、サロンや地域食堂等の活動を行なっています。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	91%	9%		状況毎の対応方法について、年度始めや流行時期にお手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	91%	9%		年に2回法令で義務付けられた通報・消火・避難訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			法人として年に1回「権利擁護・虐待防止」をテーマとした研修を行なっています。事業所としても今年度「不適切ケア」を扱った研修を行いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	82%	18%		指示書はいただいいてませんが、保護者からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	91%	9%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。また、法人内で生じた事故について、自事業所の活動に教訓として生かせるものについては職場会議にて共有しています。

2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ佐倉)

評価期間：2022年12月～2023年3月

回収数/配布数：12/13

回収率：92%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	59%	8%	状況によっては手狭に感じることがあります。中庭や近隣スペース等も活用しながら、可能な限り個々が安心感を持って過ごせるよう環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	33%	59%	8%	基準より多く配置していますが、急な変更や活動内容等によっては配置が十分でないと感じることもあります。職員間の情報共有・連携を大切にしながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		建物全体はバリアフリーになっており、トイレは車イスの方でも入れる広さで手すりも設置されています。一方で構造上、事業所内に一部死角がしやすいことやスペースの確保には課題がある為、物の置き場など工夫していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%		事業所会議や支援前ミーティング等の場で職員同士で意見を交わし合い、課題の共有、対策の検討、振り返り等を行っています。特に振り返りには時間をかけ、現状に合った改善ができるよう努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。今年度も新型コロナにより支援の一部縮小など思うように改善が進まない状況もありましたが、保護者の方からいただいたご意見は真摯に受け止め、職員間で話し合い、改善できる部分から順次改善を進めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページ上にて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所としては月1回の頻度で研修を実施しています。この他、Zoomでの外部研修への参加や市内の同事業の事業所が集まったのグループ討議などにも参加できました。次年度は外部研修への参加機会を増やせるよう情報収集に努めます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。

適切な支援の提供

10	こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	42%	8%	標準化されたアセスメントシートを使用していますが、内容が十分でない為、今後の課題として引き続き内容の改善に取り組み、支援に活かしていきます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		日頃から職員間で意見を出し合い、様々な視点を持ちながら可能な限り活動に偏りが出ないように心がけています。準備や振り返りも行っていますが、十分な時間の確保が難しいケースもある為、プログラムの実施はもちろん、その前後も大切にしながら継続していきます。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%		まだ十分とは言えませんが、他事業所と知育玩具等の交換もしながら様々な活動に目が向けられるように努めました。「0・5のつく日」の活動では、ご利用者も交え企画・実施することができました。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	25%	8%	特に休日や長期休暇は活動時間が十分確保できる為、個々の課題等に合わせ柔軟に対応していますが、日によってバラつきはあります。それぞれの時間・過ごし方の中でできることを模索・検討しながら支援していきます。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%		保護者と相談の上、計画の中に明確に位置づけされていない課題もありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	92%	8%		基本的に毎回支援前ミーティングを行い、担当や特記事項等必要な情報を共有・確認してから支援に臨むようにしています。1日活動時は全員が集まるミーティングは難しい状況にある為、紙ベースで必要な情報を共有する形を取っています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	42%	58%		退勤時間がまちまちで全職員が集まる形で支援を振り返る場を持つことは難しい状況ですが、支援後ミーティングとして、業務日誌を用い利用者に関する気づき等を共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			マニュアルや活動中の補助記録用紙の活用により、どの職員でも正しく記録できるよう徹底しています。記録を振り返ることで、支援の再検討にも繋がられている為、今後も特に意識して取り組んでいきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	92%	8%		基本的にモニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、モニタリング調整会議を開催し、時間をかけ丁寧にを行うようにしています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	75%	25%		様々な働き方がある中でガイドラインの理解に差がある為、事業所内研修で内容等の確認を行いました。まだ十分とは言えない為、引き続き理解を深めていけるように努めます。活動内容自体はガイドラインに沿ったものを提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	92%	8%		学校によっては連携が十分に行えないこともありましたが、ご利用者の約9割が在籍している学校とは連絡会の開催や学校公開への参加等もでき、日頃から情報共有・連絡調整を行うことができています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	67%		主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		保護者からの情報提供が主で、就学前に利用していた機関との直接的な関わりはほとんどありません。必要に応じて連携して対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		市によっては専用のファイルがあるので、それらも活用しながら必要に応じて情報を提供できる体制を整えています。相談支援事業所とは密に連携を取るようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			千葉県発達障害者支援センター(CAS)の方をお呼びし、保護者、担当相談支援事業所、自事業所担当職員で集まる機会が持てました。いただいた助言等は事業所内でフィードバックし、支援の再検討に繋がりました。引き続き、必要に応じて助言、研修等を受けられる機会を持てるように努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	8%	25%	67%	元々課題でしたが、今年度も新型コロナウイルスの影響により地域への外出を制限し、同一敷地内の高齢ご利用者との定期交流も自粛した為、直接的な機会を持つことはできませんでした。同一敷地内の高齢ご利用者とは作品の交換等、間接的な形での交流は再開できました。今後の状況を鑑みながら、交流できる機会を模索していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			開催時には担当者が参加し、その場で得られた情報は職員間で共有しています。

保護者への説明責任等	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%		日頃からこまめに状況を共有することができています。今後も継続することで理解を深めていけるように努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	59%	8%	ペアレント・トレーニング等を行うまでには至っていませんが、保護者からの質問等には都度可能な限り回答するようにしています。今後専門性を向上させることで事業所全体で保護者の対応力も向上できるよう力を入れていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じ都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作りを常に心がけ、傾聴の姿勢で対応するようにしています。場合によっては十分な助言に至らないこともあるので、スキルを向上させていけるように努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83%	17%		新型コロナを鑑み、コロナ前より短時間にはなりましたが、2022年12月に保護者をお呼びしての懇親会を開催しました。コロナ前後でのお子さんの変化や悩みなどを相談し合う、貴重な機会となりました。今後も、状況に合わせて定期的にこのような場を開催していきます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%		契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。苦情があった場合には、適宜適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			行事等は都度お知らせを配布しています。活動内容は月に一度の事業所内広報紙の発行で報告する形を取っています。おやつ献立表も毎月発行しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			それぞれの特性や状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮していますが、十分でないケースもあります。今後も事業所全体でコミュニケーションスキルが向上できるよう積極的に取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	33%	50%	新型コロナの影響もあり、地域の方と交流する機会などは持てませんでした。今後、どのような場を創出していけるか検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	92%	8%		マニュアルは作成できており、内容の変更等があった際には都度職員に周知しています。保護者に対しては、対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			施設全体の訓練に加え、6月、11月の年2回事業所単位でも避難訓練を実施しました。必要な動きの確認や課題等が出ればその都度職員間で共有しながら対応しています。防犯訓練も年に1回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を決め、定期的に研修する機会を設け、対応を周知・徹底できるように努めています。また、強度行動障害の対象児を中心に支援手順書を作成し事業所内で統一の支援を提供しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	67%	33%		基本的に医師の指示書はいただいていませんが、保護者からの情報に基づき対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で回覧するとともに会議等の場で確認し、原因の分析と対策を話し合っています。

2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ土淳)

評価期間：2022年11月～2023年3月

回収数/配布数：9/13枚

回収率：69%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	45%	22%	利用人数に応じて密度が高い場合には、外遊びの機会を設けたり、庭に設置している大型遊具を積極的に活用しながら活動しています。個別スペースの確保が難しく、パーティション等を用いて個別スペースを作っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	33%	56%	11%	基準人数は配置しているが、各学校の下校時間により配置に変動がある為、職員間で声を掛け合い連携を図っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	22%	22%	56%	民家を借りての活動の為、玄関・トイレ等のバリアフリー化はされていません。建物の老朽化もあり、危険箇所気づいた際は、専門業者への迅速に状況確認、修理依頼を行い、安全に活動できるよう、環境整備に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22%	78%		PDCAサイクルを行うことで、職員全体の意識向上に繋がってきたところはありませんが、まだまだ十分でない為、今後も職員全体が積極的に参加できるように努めていきます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施します。コロナの影響により支援の一部縮小など思うように改善が進まない状況もありましたが、保護者の方から頂いたご意見を真摯に受け止め、改善できる部分から対応に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内同事業所の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			月1回の頻度で研修を開催しています。今年度は事業所内研修、同エリア合同研修に加え、グループ討議、市内の同業の事業所が集まったの研修に参加しました。また、強度行動障害支援者養成講座の基礎研修に1名参加しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		丁寧なアセスメントを心掛け、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	22%	11%	標準化されたアセスメントシートを使用していますが、内容が十分でないと感じる部分がある為、今後の課題として引き続き内容の改善に取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	56%	33%	11%	作成者が固定化しない、担当制にする等、職員間で意見を出し合い立案に努めています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	56%	44%		日頃の利用者との会話から希望、提案を拾い上げる、また過去の活動の振り返りや他方面から情報を収集し、プログラムが固定しないように努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%		日によって状況が違うこともあり、十分とは言えないが平日や週を通してのイベントを設定したことにより、課題が見出しやすくなってきたと感じています。今後もより明確に課題を設定し、活動内容が充実できるように努めます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%	0%	利用者のニーズや状況に合わせて、個別・集団を意識して計画を行っています。個々に取り組む工作や制作活動を始め、集団で取り組むゲームや遊び、また季節ならではの体験や活動を組み合わせた、多種多様で充実した計画を提案・作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			支援開始前にミーティングを行い、共有事項の確認、活動の流れや分担の確認を行っています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	34%	33%	33%	退勤時間が異なり、当日に十分な共有が難しい日もありますが、そのような時には翌日などにきちんと振り返り、共有を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	22%		記録者の主観を入れず、見たままの行動や支援の記録を正しく記載しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	78%	22%		モニタリングは半年に一度実施しています。定期的にケース会議を開催し、必要に応じて支援の方向性や内容の見直しを全体で検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	33%	67%		会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げられるように努めます。
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	89%	11%		相互に連携を図り、必要に応じて情報共有・連絡調整を行っています。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	22%	33%	33%	現在該当者はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるように検討します。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		必要に応じて共有することはありますが十分とは言えません。今後情報共有に努めていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		該当する機会があった際には、そのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ることはありますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	11%		89%	未だコロナ禍にあり、各家庭の意向を考えるとまだまだ難しい状況下にあります。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			開催があった際には担当者が出席し、職員間で共有に努めています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%		引き渡し時や連絡帳等のやり取りを含め、平日頃からこまめに共通理解を図るよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	11%	33%	45%	事業所だけでは対応が十分にできないケースもあります。難しい場合には、学校等と連絡を取り合い対応しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう学びを深めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		基本的には契約時にご説明をしています。その他必要に応じて、都度丁寧に説明を心掛けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	45%	56%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作り・傾聴の姿勢での対応を心掛けています。十分な助言に至らないこともある為、職員一人一人のスキル向上に向け、今後も研修等積極的に参加しスキルアップに努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	22%	11%	直前まで開催の計画で進んでいましたが、新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず今年度も中止となりました。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	56%	33%	11%	苦情等のご意見は真摯に受け止め、迅速な対応を心掛けています。必要に応じて全体に周知徹底、サービスの向上・改善に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	89%	11%		事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			職員全員、個人情報の取り扱いには細心の注意をはらっています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89%	11%		特性に応じて個々の適切なツールを活用しながら、対応しています。また保護者に対しても、職員間で情報共有をしっかりと行い、配慮するよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11%	11%	78%	未だコロナ禍にあり、各家庭の意向を考えるとまだまだ難しい状況下にあります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	78%	22%		マニュアルを策定し、職員に周知しています。保護者への周知が少なかつた事を反省点とし、流行性や季節性の時期には早めに周知できるよう、課題とします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを強化していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのあるこどもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	45%	44%	11%	契約時、必ず確認しています。アレルギー、発作等がある方に関しては、都度保護者と情報共有を密に図り、対応にあたっています。現時点では医師の指示等に基づく対応が必要な利用者はおりません。

43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%		当該職員が報告書を作成し、児童発達支援管理責任者が中心となって対策を検討、定例会議にて全職員に周知徹底を図っています。
----	---------------------	------	--	---

2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

評価期間 :2022年12月～2023年3月

回収数/配布数 :12/14

回収率 :78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	42%	58%		どうしても車椅子でスペースを取られることが多いため、通路や活動スペースの確保に留意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	33%	58%	8%	マンツーマン対応できない放課後利用時はかなり活動に制約が生じています。また、医療的ケアのあるご利用者と看護師のバランスを取ることが難しい状況です。次年度も継続してバランスを心掛けて運営します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			どなたでも利用しやすい環境が整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%	0%	職場会議や活動会議の中で立てた目標の振り返りを行なっていますが、勤務日数の少ない職員が会議に参加することが困難な状況で、「広く」参画いただくには工夫が必要です。また、目標だけではなく、達成のための具体的な役割分担や手法まで計画・実行することができていないため、次年度はこの点に注意して運営します。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行なっていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	67%	33%	0%	コロナ禍ということもあり外部研修を取り入れる回数が限られてしまっています。次年度からはeラーニング研修(サブスク)を導入することで、勤務回数の少ない職員でも研修を受講できる体制を整えます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%	8%		面談・アセスメント後に作成された計画に対し、全職員がモニタリングに関わることで、共通認識の持てる計画を作成(更新)できています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	84%	16%		既にアセスメント表はありますが、個別活動・支援を充実するため、誰でも一目でわかるアセスメント表(簡易版)を作成します。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%		活動会議を中心として活動プログラムを作成しています。次年度は、各プログラムにどのように個々のご利用者に関わっていただくかに重点を置いて立案します。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%		プログラムが偏らないよう活動会議の中で調整していますが、今年度は制作活動が多く、レクリエーションが少なめだったため、次年度は「楽しむ」ことに重きを置いて活動を計画します。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%		終日利用時には個々のご利用者の状態に応じてカラダの時間を設けたり個別活動に力を入れる等の工夫をしました。ただし、時間に追われることが多く、職員配置も含めてより活動を充実できるような工夫が必要です。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%	8%		すべてを放課後等デイサービス計画に盛り込むことはできませんが、計画内容を意識しながら個別活動や集団活動に取り組んでいます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%		放課後利用時は必ず朝礼を行なっています。終日利用時は職員が揃った時点でその日のことについて軽く打合せを行なっていますが、毎回できているわけではないため、確実に全員が当日のことをわかる状態となるよう、更に改善します。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	58%	25%	17%	シフトによって夕礼に出られない職員がいるため当日の職員全員ではありませんが、毎日必ず振り返りを実施しています。夕礼に参加できない職員の気付きをどう共有するか、次年度検討します。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%		正しい記録は徹底していますので、今後も継続します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	17%	8%	全職員が参加してモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	50%	50%		ガイドラインの基本活動を意識しつつも、その時々、利用者の状況等に応じて適切と判断できる活動に取り組んでいます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて専門職も同席しています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	92%	8%		学校からの情報は必要に応じてお尋ねし、都度いただくことができています。学校側も当事業所の情報がほしいという要望をいただいていますので、今後も適宜情報共有に努めます。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	67%	33%		主治医と直接連絡を取ることは稀ではありますが、有事には連携できるようご家族を通して連絡体制は整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		今年度は該当者がいませんでしたが、次年度は該当するご利用者がいるため、情報収集・連携に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			依頼があったケースについては情報共有致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			必要に応じて専門機関と連携しています。また、新たに医療的ケア児に特化した機関が誕生したため、更に連携を深めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	42%	42%	17%	施設の取り組みとして地域住民(子どもを含む)との関わりに力を入れ、今年度は「子どもの居場所」づくりに取り組んでいますが、コロナ禍ということもあり当事業所との関わりは少ない状況です。次年度は交流の機会が持てるよう工夫します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			自立支援協議会の医療的ケア部会に参加し、他事業所や他機関との連携に努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%		当日の様子を共有する他、事業所会議で出た疑問点等は送迎の時間を使って情報をいただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	42%	25%	職員が直接何かをすることはありませんが、ご家族にとって必要な研修の情報を「あかさくだより」等を通してご案内しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に時間を掛けてご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		ご相談いただいた場合には専門職として答えられる範囲で助言し、個別対応が困難な場合には、事業所に持ち帰って相談の上回答しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	50%	33%	コロナ禍で開催できていません。次年度4月に計画しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%		契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。また、苦情(ご意見)があった場合には、適時適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%		広報紙は毎月発行しています。ブログの定期更新が途絶えてしまっているため、次年度は定期的に更新します。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			法人内の個人情報漏洩事故等の事例を共有するなど、危機意識を持って業務に従事しています。

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%		コミュニケーションを取る際に言葉に頼ることが多い状況です。絵カード等、個々の必要な支援ツールの活用を徹底します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	58%	17%	25%	コロナ禍でイベントへのご招待はできていませんが、次年度は感染状況を見ながら検討・実施します。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%		マニュアルは策定し、周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	92%	8%		避難訓練は年に2回必ず実施しています。緊急時対応についても研修を実施していますが、特に緊急時対応については「誰でもいつでも対応できる」という状況になっていないため、次年度は研修の頻度を上げる等の対応を取ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	92%	8%		毎年必ず虐待防止の研修を実施するとともに、虐待防止委員会での検討内容や資料を共有し、啓発に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			職場会議においても適時検討すると共に、虐待防止委員会においても報告・検討して対応しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	100%			医師の指示に基づくご家族の指示をいただいています。
43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			ひやりはっと報告書を作成・共有しています。	

2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ飯野)

評価期間 :2022年11～2023年3月

回収数/配布数 :11/15

回収率 :73%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	64%	27%	9%	新型コロナ蔓延により外出機会は少なくなりましたが、人混みを避けて公園や散歩に出かけたり、利用人数によりスペースが十分でないと感じる時には積極的に庭に出て分散するなど工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	64%	36%		基準は満たしています。学校ごとの下校時間によって配置に変動がある場合や、利用者の特性によって手厚い配置が必要な際は、こまめに職員間で声を掛け合い、連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	18%	46%	36%	民家を借りての活動の為、段差や階段がありますが、階段に手すりをつけたり、滑り止めをつけ転倒防止をしたりと活動しやすい環境作りに努めています。また、職員同士で危険箇所がないか意見を出し合い都度整備するよう心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	78%	22%	0%	多くの職員が業務改善への意見を出せるようになってきましたが、十分とは言えません。全職員の意見が聞けるよう定期的にアンケートや意見交換を実施するなど工夫しています。出た意見に対しては優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				2022年度も引き続きアンケートを実施しました。保護者の方から頂いたご意見は真摯に受け止め、全職員で共有・把握をし、改善できる部分から順次改善を進めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか				ホームページ上で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか				外部評価は行っていないですが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%		月1回の職員会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、ハラスメントや権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。

適切な支援の提供

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%		11%	日頃から子どもたちの様子を共有しながら、丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	77%	17%	6%	標準化されたアセスメントシートを使用していますが、現状に合わせて内容の改善に取り組んでいます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%		毎月の職場会議において職員の意見を出し合い、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っており、立案しています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	89%	11%		職員や利用者から意見を積極的に取り入れ、季節や興味関心などに応じて柔軟な対応ができるように努めています。2022年度も引き続き、アールブリュットを活動に盛り込み、物作りの楽しさや達成感を感じ取ることができるよう努めました。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	55%	31%	14%	日によって状況が違うこともあり、十分とは言えません。より明確に課題を設定し、活動内容が充実できるように努めます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		個々の利用者の状況や保護者の要望、利用者自身が掲げている目標等から、利用者毎に計画を作成しています。個々に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。送迎時間が早い日にはミーティングを行えない場合もありますが、活動中に必要な情報を職員間で都度共有できるよう努めています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	64%	36%		退勤時間がまちまちのため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有できるよう工夫しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			正しく記録をとり、支援に繋がっていますが、個々に差があることが課題のため、スキルアップを図り、支援の改善・検討に繋げていけるよう努めます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	23%	66%	11%	モニタリングは半年に一度実施しています。また計画変更の必要性の有無、時間をかけて丁寧に行うようにしています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	11%	12%	77%	ガイドラインの理解に差があるのが課題のため、今後も引き続き全職員がガイドラインの理解を深められるよう会議や研修などで周知していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	67%	33%		状況に応じて、児童発達支援管理責任者・当該利用者の担当者などが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	44%	引き渡し時や電話などが中心ですが、必要に応じて連絡・調整ができています。新型コロナウイルス感染症の発生や荒天による休校等についての情報は、学校配信の専用のメールにて得ています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	56%	44%		現在該当する方はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるよう検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行えていないのが現状であり課題である為、引き続き、連携の強化に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	89%	11%		該当する機会があった際には、そのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターと連携をとり、可能な範囲で研修に参加するようにしていますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。発達障害者支援センターについては、今年度は主催の研修に参加し、有意義なものであったので、今後機会があれば積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	78%	22%		外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けられた際の地域の人とのふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%		連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	32%	22%	44%	事業所だけでは対応が十分にできないケースもあります。難しい場合には、学校等と連絡を取り合い対応しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるように学びを深めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにはしていますが、その他必要に応じて都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89%	11%		傾聴の姿勢で保護者が相談しやすい心がけていますが、十分な助言に至らないこともあります。職員のスキルを向上させ、風通しのよい事業所にしていけるよう今後も努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			新型コロナの影響があり、数年保護者会を開催することができておりません。2022年度は、開催日の直前にコロナの影響を受け、中止となってしまいました。開催にあたり保護者のニーズを聞き取りながら、より良い機会を設けられるよう努めていきます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%	11%		体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、今後も丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	78%	22%		個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89%	11%		個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。定期的に保護者の方と話し合い、希望に沿って対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	34%	22%	44%	コロナ禍で難しいケースもありますが、近隣住民との関係は良好で、日常的に挨拶など関わりは持っています。現状が落ち着き次第、地域住民のみならずとの関わりについても検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	89%	11%		マニュアルは作成できており、内容の変更等があった際には都度職員に周知しています。保護者に対しては、対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			火災・地震時の避難訓練は年2回、防犯訓練は年1回実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89%	11%	法人として年に1回「権利擁護・虐待防止」をテーマとした研修を行なっています。また、虐待防止委員を選出し、委員が中心となり月に1度研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	67%	33%	アレルギー・発作・食事制限がある方に関しては、都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%		報告書を全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次に活かせるようにしています。また、法人内で生じた事故について、自事業所の活動に教訓として生かせるものについては職員会議にて共有しています。